



図書館員が選ぶ この一冊

6

『ロング・グッドバイ』 早川書房
レイモンド・チャンドラー著/村上春樹訳



私立探偵フィリップ・マーロウは、大富豪の娘と結婚したテリーと偶然知り合い、毎晩のように酒を酌み交わすが、テリーは妻殺しの容疑をかけられ自殺してしまう。複雑な事件に否応なく巻き込まれていくマーロウ。事件の闇に隠された意外な真相とは…。

全編が探偵の一人称で語られる長編ハードボイルド小説の傑作。“さよならを言うのは、少しだけ死ぬことだ”など珠玉の台詞も満載。チャンドラーから影響を受けたという訳者の村上春樹によるあとがきも興味深い。清水俊二の旧訳と読み比べるのも一興。読み始めたら止まらないこと請け合いだ。